

# 県中学総体サッカーで快挙

# 安城勢 1位

安城北中

# 2位

安城西中

# 独占



県大会での健闘をたたえ合い、肩を組む安城北中と安城西中の選手ら＝安城市新田町で

今夏の県中学校総合体育大会のサッカー競技で、安城市の安城北中が優勝、安城西中が準優勝となった。「快挙だ」。規模が決して大きくない安城勢による県大会の上位独占に、両校の指導者や保護者らは沸いている。選手は「相手は強かった。良い試合ができた」と健闘をたたえ合った。

(白名正和)



安城勢同士の対戦を知らせる電光掲示板＝保護者提供

## 両校部員 小学時代 同チーム所属も

大会は七月二十九日～八月一日に刈谷市などで開かれ、西三河や東三河、名古屋や知多など県内各地の代表十六校が出場した。

一回戦で安城北中は私立東海中(名古屋市)、安城西中は青陵中(豊橋市)と対戦し、いずれも突破。その後もトーナメントを勝ち進んだ。決勝では前半に西中が先制するも、後半に北中が1点を取り返して延長戦に突入。北中が逆転ゴールを奪い、勝負を決めた。

大会後に引退した北中サッカー部の元主将、野須大雅さん(モ)は「決勝を安城の学校同士で戦えて良かった」。西中サッカー部の元主将、浅野智也さん(巴)も「連戦の疲労もあったが、北中を倒そうという気持ちでベストを尽くせた」と振り返る。

両校の部員の多くは小学校時代、地元のチーム「安城モンキーズSC」などに所属し、共に練習に励んでいた。元チームメイト同士の対戦となったが、野須さんは「抵抗は全くなくて。相手の特技など特徴も分かっていたので、対戦前はワクワクする気持ちだった」と話す。

安城勢の県大会上位独占について、両校のサッカー部の監督は「街の規模が大きい名古屋や豊田、岡崎ならともかく、安城でワンツーを決めたのは極めて珍しい」と声をそろえ、選手らの努力を評価した。